



例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 2 1  
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内  
☎026(235)2800 FAX026(235)0016  
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／若麻績信昭 幹事／西沢 徹 クラブ会報委員長／藤澤克彦  
SAA／南 信行 副SAA／狩野 土

第1677回例会 2023年（令和5年）9月8日（金）

世界に希望を生み出そう  
CREATE HOPE in the WORLD

会長挨拶

若麻績信昭会長



お姫様の結婚  
江戸時代15～18歳が結婚適齢期と言われていた時代、将軍家や大名の女性は、政略結婚などで結婚も早かったようです  
三代将軍家光さんの千代（ちよ）姫も、僅か2歳の時御三家の尾張徳川家へ嫁ぎました

結婚の時重要視されたのが、婚礼調度品、いわゆる嫁入り道具です。千代姫の時は、金銀を贅沢に使い蒔絵技術の粋を凝らした「初音の調度」（現・国宝）が用意されました

千代姫の場合、結婚式だけに留まらず、嫁いだ後も尊重されました。先ずは住まい。江戸の大名屋敷に専用の別棟が新築され、位の高い大名は「御守殿（ごしゅでん）」低い人は「御住居（おすまい）」といいます。御守殿を初めて作らせたのは千代姫でした

更に「賄料（まかないりょう）」と呼ばれる生活費、女中や「広敷役人（ひろしきやくにん）」と呼ばれる付け人の男性が幕府から用意された

千代姫の賄料は年間五千両現在の貨幣価値に換算すると約五億円位になります。また女中は73人、広敷役人は49人だったそうです

千代姫の死後、婚家の菩提寺では無く、将軍家の菩提寺の、東京芝増上寺でした

江戸時代大名のお姫様方に重宝されたのが、奈良時代朝鮮半島から、宮廷に献上された「狝」です。中には珍し好きの「カナリア」を五十両出して飼われた方もいたそうです。

幹事報告

西沢 徹幹事



・次週15日の例会場は、2階の弥生の間となります。お間違えのないようお願い致します。また、第3回クラブ協議会も4階のりんどうの間となります。宜しくお願い致します。

- ・先週掲示板に添付しました月信9月号のURLが誤って8月号が表示されてしまうそうです。新しいQRコードを添付しておりますので、ご確認お願い致します。
- ・10/14開催のIM・会員セミナーの締め切りが本日となりますので、出欠のご記入がまだの方は、例会場入り口でご記入お願い致します。
- ・本日地区大会のパンフレットを配布いたしました。本年度は松本のキッセイ文化ホールで開催されます。先日ご案内もFAXさせていただきましたが、大勢の方のご参加お待ちしております。

9/15 本日のプログラム

会員卓話 西沢 徹さん  
「幹事の職命を懸けたお諮り事」

例会案内

9月22日 休会  
9月29日 休会  
10月6日 ガバナー補佐事前訪問例会  
10月14日(土) IM・会員セミナー  
於：ホテルメトロポリタン長野  
\*13日（金）の例会を振替

ゲスト：西澤 明英さん (株)フューチャーラボ



- ・若麻績信昭さん☆予報より少なくて良かったですね。
- ・太田裕志さん☆西澤さん、西ロータリークラブへようこそ。本日はよろしくお祈りします。
- ・小山浩太郎さん☆西澤さん本

日の卓話楽しみにしています。西ロータリーへの入会お待ちしております。!

- ・青木 宏さん☆今年長野県で100歳を迎える方は1200人いるそうです。長野県写真館協会も100周年となり「信州元気な百歳100人展」を25日から市役所で開催します。皆さんまだまだ若い!!
- ・佐藤吉朗さん☆やっと涼しくなってきました。気候の変化で体調を崩さないようにしましょう。
- ・西沢 徹さん☆地味にコロナが流行りだしました。皆様ご留意ください。

・合計 10,000円 ・累計 136,065円

#### 講師紹介

#### 太田裕志プログラム委員長



危機管理士、防災士という資格をお持ちです。2000年アリコジャパン (現メットライフ生命) に入社され、西澤さんの方が先輩ですが、そちらで何年か一緒に仕事をさせていただきました。

MDRTという全世界の生命保険業界トップセールス6%で構成される組織に入会以来、数々のタイトル営業タイトルを獲得されました。2014年全国初の新卒中心の組織をマネジメントされ、組織立ち上げ後わずか3年7ヶ月で上半期・下半期また年間売上日本一となり、最優秀マネージャー賞のグランドスラムを達成されました。

2016年危機管理コンサル会社(株)フューチャーラボを設立され、現在代表取締役として活躍していらっしゃいます。また現在監査役を2社、顧問先11社を就任されております。

文部科学省、長野県、長野市など官公庁と連携して数多くの講演等開催されております。所属は日本危機管理士機構会員、日本防災士会会員、一般社団MDRT日本会MDRT終身会員、長野市医療界施設第三者委員会メンバーで、専門分野は、経営相談全般、危機管理対策、各種研修講師などと多彩な才能でご活躍されております。

#### ゲスト卓話 西澤明英さん

#### 「危機管理から考えるリスクマネジメント」



当社はコンサル会社ですので、製品ではなく考え方を皆さんにお伝えし、それに対する報酬をいただいております。長野市では非常に珍しい危機管理専門で、法人・個人問わずやらせていただいております。個人の相談も最近非常に多く、空き家問題、相続、事業承継、近隣トラブルなどの相談が多いです。

法人では、危機管理対策です。特に企業における防災系のBCP (事業継続計画)、SNS等による炎上リスクなど色々あります。県外からの需要も最近増えて来ています。また、強みとしては研修です。去年から始まりましたパワーハラスメント対策は、中小企業は義務化となっております。それに対してのお手伝い等させていただきます。また、長野商業高校で、全生徒さんに金融授業をさせていただきました。また、新入社員研修、各種クレーム対策、教職員用の研修等をさせていただきます。また、市の委託事業を行っており、プロモーションのお手伝いなどをやっておりますが、最近では善光寺の御開帳の際、新型コロナウイルス感染対策の提案をやらせて頂きました。

そもそも危機管理とは何か。現在の危機管理とは身近なリスクに対応することです。例えば、オレオレ詐欺、SNSの炎上、訴訟問題、離婚問題、空き家・泥棒問題などすべてが危機管理です。最近の事例で考えますと、危機管理の対策を間違えるとその後の人生にかなり大きな影響がでます。ですので、ここはプロを入れていただきたいです。今後は危機管理における意識の格差が企業経営及び個人の人生に大きな影響を及ぼす可能性があると思っています。企業において危機管理対策部の設立を私は推奨しています。

実は、危機管理には二つあります。クライシスマネジメント (事後対応) とリスクマネジメント (事前対策) この二つが相まってエマージェンシーマネジメントと呼ばれます。よく私の所へ相談に来る方のほとんどが何かトラブル起こってから来られます。これは非常に厳しく、出来ることは全体の対策の2割位です。適切な事後対応をすると日常に早く戻ることが出来ます。ですが、そもそもリスクを抑えることが出来ればダメージは軽減し、日常に戻るスピードも速くなります。

日本人の経営者の多くは、リスクマネジメントをしたがりません。もし、何も起こらなければゼロになる。捨てるのが嫌だということです。私の経験上、クライシスマネジメントの方が、膨大に費用が掛かります。そして、会社の経営基盤そのものを揺るがしかねません。問題はリスクマネジメントを会社の広報活動に利用できるかどうかです。その会社がどれだけ危機管理に対応しているかどうかをSNSを通して消費者に発信し、会社の利益に直結するようもってくれば、決して無駄にはならないと思います。何もしないことは最大のリスクです。

どんなに対策をしてもリスクは、絶対にゼロになりません。これが残存リスクです。でもこれを限りなくゼロに近づける作業が必要です。ですので、日常の注意、教育、情報共有が非常に重要だと言われています。

今日一つだけお伝え出来るのであれば、危機管理の対策をして損をした方は、私のお客様にはいらっしゃいません。何かしらにプラスとなっています。日本は安全がベースとなつてなかなかそういったことを考えないのですが、その脳の力が発達して感度が敏感になると恐らく他の経営に生き、また従業員教育にも生きてきます。この対策を施設の利用者、消費者、また購買者にどうやって訴えていくかが、利益に直結していくと考えています。ですので、そういった対策をしていくことをお勧めします。